

## 【主要薬剤・作物別混用事例集】

※必ずお読みください

1. この混用事例集は、使用者が混用する際の目安となるように、効果・薬害等の試験例・使用事例を参考にとりまとめたものであり、相手剤の登録を保証するものではない。なお、混用に当っては各薬剤の製品ラベルをよく読む。混用相手剤の作物適用が削除になっている場合があるので最新の登録内容を順守する。
2. この混用事例集は、混用した希釈液を製品として保証するものではない。
3. この混用事例集は、全国的に見た一応の目安として作成した。したがって、地域・産地で経験や知見がある場合は、本表より優先させる。
4. この混用事例集は、登録の範囲の希釈濃度（航空防除・スプリンクラーなどの高濃度少量散布は除く）で、できるだけ速やかに散布を完了することを前提として作成した。
5. 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があるが、この混用事例集の判定はあくまでも混用を前提とし、単用による薬害は反映させていない。
6. 塩基性塩化銅水和剤などのように、成分名で一括表記した薬剤は、個々の薬剤について登録の有無を確認する。
7. 単用で皮ふかぶれを起こしやすい農薬と乳剤の混用は皮ふかぶれをさらに助長することがあるので注意する。
8. 有機リン剤どうしの混用は急性毒性が増加する場合があるので注意が必要である。
9. 水和剤あるいはフロアブル剤と乳剤を混用する場合は原則として次による。まず乳剤の希釈液を調製し、ついで水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混用液を調製する。少量の水に乳剤と水和剤あるいはフロアブル剤を同時に加えて練ってから希釈する方法はさける。
10. フロアブル剤と水和剤を混用する場合は、まずフロアブル剤の希釈液を調製し、ついで水和剤を加えて混用液を調製する。両薬剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。
11. 水和剤あるいはフロアブル剤どうしを混用する場合は、まず1つの水和剤あるいはフロアブル剤の希釈液を調製した後、次の水和剤あるいはフロアブル剤を加えて混用溶液を調製する。両薬剤を同時に加え、練ってから希釈することはさける。乳剤の場合も同様である。
12. 混用に当っては良好な散布薬液を得る手順についての知見や経験がある場合は、それを優先する。
13. 不明の点は専門の技術者に相談する。

## 記号の説明

●：混用事例があり問題なかった。

×：混用できない。

空欄：判定するに足りる知見がない。

その他の記号については各頁下部の記載を確認する。

## パルミノ(フロアブル)

害虫	作物名	きゆうり	なす	ピーマン	トマト	メロン	スイカ
ア	アールデント水和剤	●	●		●	●	
	アクタラ顆粒水溶剤	●	●		●	●	●
	アグロスリン水和剤	●	●		●	●	
	アグロスリン乳剤	●	●	●			
	アタプロン乳剤	●	●	●		●	●
	アデオン乳剤	●	●	●			
	アドマイヤー顆粒水和剤	●	●		●		
	アドマイヤー水和剤	●	●	●			●
	アドマイヤーフロアブル	●	●		●	●	
	アニキ乳剤	●	●		×		
	アフーム乳剤	●	●	●	×	●	●
	アブロードエースフロアブル	●	●		●	●	●
	アブロード水和剤	●	●		●	●	●
	アルビオン/スタークル顆粒水溶剤	●	●		●	●	●
	ウララDF	●	●		●	●	●
カ	カウンター乳剤	●	●	●			
	カスケード乳剤	●	●		●	●	
	カネマイトフロアブル	●	●		●	●	●
	クリアザールフロアブル	●	●		●	●	●
	グレーシア乳剤	●	●		●	●	●
	コテツフロアブル	●	●	●	●	●	●
	コルト顆粒水和剤	●	●		●	●	●
	コロマイト水和剤	●	●		●	●	●
	コロマイト乳剤	●	●		×	×	×
サ	サイアックス乳剤	●	●				
	サイハロン水和剤	●	●				
	サイハロン乳剤	●	●				
	ザプロール乳剤	●	●				
	サンマイト水和剤	●	●			●	
	サンマイトフロアブル	●	●	●			
	サンクスタル乳剤	●	●				
	スカウト乳剤	●	●				
	スカウトフロアブル	●	●				
	スターマイトフロアブル	●	●		●	●	●
	スピノエース顆粒水和剤	●	●		●	●	●
	スミチオン乳剤	●	●				
タ	ダイアジノン水和剤	●	●				
	ダイアジノン乳剤	●	●				
	ダニサバ(フロアブル)	●	●			●	●
	ダニトロンフロアブル	●	●				
	ダブルフェースフロアブル	●	●				
	ダントツ水溶剤	●	●	●	●	●	●
	チェス顆粒水和剤	●	●				●
	兼商チューンアップ顆粒水和剤	●	●		●	●	●
	ディアナSC	●	●			●	
	デミリン水和剤	●	●			●	
	テルスター水和剤	●	●				
	テルスターフロアブル	●	●		●	●	●
	トランスフォームフロアブル	●	●				
	トリガード液剤	●	●				
	トルネードフロアブル	●	●	●	●	●	●
	トレボンEW	●	●				
	トレボン乳剤	●	●				
チ	ニツラン水和剤	●	●				
	ノーモルト乳剤	●	●				
ハ	ファインセーブフロアブル	●	●				×
	ハチハチ乳剤	●	●				
	ハツバ乳剤	●	●				
	ハロックスフロアブル	●	●		●	●	●
	ビラニカEW	●	●		●	●	●
	ポリオキシシAL水溶剤	●	●				
	フェニックス顆粒水和剤	●	●	●	●	●	●
	フレオフロアブル	●	●				×
	フレバノンフロアブル5	●	●		●	●	●
	ベストガード水溶剤	●	●		●	●	●
マ	マイトコネフロアブル	●	●		●	●	●
	マトリックフロアブル	●	●		●	●	●
	マブリック水和剤	●	●				
	マラソン乳剤	●	●	●			
	モスピラン水溶剤	●	●		●		●
ヤ	兼商ヨーバルフロアブル	●	●				●
ラ	ロディー乳剤	●	●	●			

## 病害

病害	作物名	きゆうり	なす	ピーマン	トマト	メロン	スイカ
A	Zボルドー水和剤	●	●	●	●	●	●
ア	アフェットフロアブル	●	●	●	●	●	●
	アミスター20フロアブル	●	●	●	●	●	×
	アリエッティ水和剤	●*	●	●	●	●*	●
	オーンサイド水和剤	●	●	●	●	●	●
	オキシラン水和剤	●	●	●	●	●	●
カ	カッパーシン水和剤	●	●	●	●	●	●
	カスミンボルドー水和剤	●	●	●	●	●	●
	カンタストドライブフロアブル	●	●	●	●	●	×
	キノンドー水和剤40	●	●	●	●	●	●
	キノンドーフロアブル	●	●	●	●	●	●
	キンセツ水和剤	●	●	●	●	●	●
	兼高クプロシールドフロアブル	●	●	●	●	●	●
	ゲッター水和剤	●	●	●	●	●	×
	コサイドボルドー	●	●	●	●	●	●
サ	ザプロール乳剤	●	●	●	●	●	●
	ザンフロDMフロアブル	●	●	●	●	●	●
	サンヨール	●	●	●	●	●	●
	シグナムWDG	●	●	●	●	●	●
	ジーファイン水和剤	●	●	●	●	●	●
	ジマンダイセン水和剤	●	●	●	●	●	●
	スクレアフロアブル	●	●	●	●	●	●
	スコア顆粒水和剤	●	●	●	●	●	●
	ストロビーフロアブル	●	●	●	●	●	●
	スミレックス水和剤	●	●	●	●	●	●
	セイビアーフロアブル	●	●	●	●	●	×
タ	ダイアメリットDF	●	●	●	●	●	●
	ダイマジン水和剤	●	●	●	●	●	●
	タコニール1000	●	●	●	●	●	●
	トップジンM水和剤	●	●	●	●	●	●
	ドーシャスフロアブル	●	●	●	●	●	●
	トリフミン水和剤	●	●	●	●	●	●
	トリフミン乳剤	●	●	●	●	●	●
ハ	バリダシン液剤	●	●	●	●	●	●
	ビシロックフロアブル	●	●	●	●	●	●
	フェスティバルCG水和剤	●	●	●	●	●	●
	プリントフロアブル	●	●	●	●	●	●
	フルヒカフロアブル	●	●	●	●	●	●
	プロボース顆粒水和剤	●	●	●	●	●	●
	ベトファイター顆粒水和剤	●	●	●	●	●	●
	ベルコート水和剤	●	●	●	●	●	●
	ベルコートフロアブル	●	●	●	●	●	●
	ベンレート水和剤	●	●	●	●	●	●
	ホライズンドライブフロアブル	●	●	●	●	●	●
	ホリベリン水和剤	●	●	●	●	●	●
マ	マイコシールド	●	●	●	●	●	●
	ライメイフロアブル	●	●	●	●	●	●
	ラリー水和剤	●	●	●	●	●	●
	ランマンフロアブル	●	●	●	●	●	●
	リドミルMZ水和剤	●	●	●	●	●	●
	ルビゲン水和剤	●	●	●	●	●	●
	ロプラール500アクア	●	●	●	●	●	●
	ロプラール水和剤	●	●	●	●	●	●

\*…パルミノフロアブル希釈後にそれぞれの水和剤を加えて混用液を調製する

## 病害に関する注意

- ・なす：定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しない。
- ・機能性展着剤(ブラボー、ニーズ、スカッシュ、アプローチB)等)や液肥は葉害が生じるおそれがあるため加用しない。